

|       |             |         |         |      |     |
|-------|-------------|---------|---------|------|-----|
| 科目名   | コマース研究ゼミナール | 科目コード   | 1210    | 単位数  | 2   |
| 担当者名  | 田村 亨        | 開講セメスター | 第5セメスター | 開講年次 | 3年次 |
| 授業の方法 | 演習          | 実務経験    | 無       |      |     |

●授業のねらい

企業と消費者は、市場という時空間の中で様々な流通活動を行っている。その中の商業空間を構成する要素は、土地、自然資源、社会資本、制度資本の4つとされ、その魅力がグローバルに動き回る人・モノ・情報・お金を引き付ける。ゼミナールでは、商業空間における「にぎわい空間づくり」を習得することにより、自らの課題を発見し解決する能力を身につける。

●到達目標

- ・立地適正化計画についてその立案方法を習得するとともに、用語を的確に使えるようになる
- ・エリア・マネジメント手法を習得するとともに、用語を的確に使えるようになる
- ・業務地区更新（BID）の手法を習得するとともに、用語を的確に使えるようになる
- ・以上をとおして、習得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決できるようになる

●授業内容

- 1週目 なぜ、人は都市に集まるのか
- 2週目 都市と農村
- 3週目 まちづくりの主体は誰か
- 4週目 土地利用計画
- 5週目 都市施設計画
- 6週目 計画手続き
- 7週目 にぎわい空間づくりにおけるエリア・マネジメント
- 8週目 立地適正化
- 9週目 地域拠点づくり
- 10週目 業務地区更新（Business Improvement District ; BID）
- 11週目 広域都市圏におけるにぎわい空間づくり
- 12週目 魅力ある商業空間
- 13週目 美しい商業空間
- 14週目 プレゼンテーション： 土地利用計画
- 15週目 プレゼンテーション： 都市施設計画
- 16週目 都市の未来 「但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。」

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

ゼミナールは、「講義」と「ケース・ディスカッション」から構成され、与えられた課題について討論するため予習が必要となる。（予習）講義の中で次回講義のキーワードを示すので、インターネットを用いて調べてくる（90分程度）。（復習）講義の理解が不十分な箇所を明確にして、次回講義で質問できるように自分の考えと質問をノートにまとめる（30分程度）。

●成績評価の方法・基準

事例分析した結果をプレゼンテーションすることにより評価する

●履修上の留意点

公表データを用いた具体的な実証分析が求められる

●課題に対するフィードバックの方法

毎回、講義の中で質問を行い、学生の回答に対する評価を講義の最後に行う

●テキスト

ゼミナール時に資料を配布する

●参考書

伊藤香織ほか『シビックプライド2』（宣伝会議）、2015年 1900円

●更新日付

2022/01/19 10:59